

2008年3月26日

セブン-イレブン店舗の新エリア展開 北陸3県への出店に向け活動開始

～今秋より、富山・福井・石川に順次出店～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン(東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>山口 俊郎)は、2008年4月より北陸3県(富山・福井・石川)において、セブン-イレブン加盟店の本格的な募集・契約活動を開始し、今秋を目処に順次出店を開始いたします。出店にあたっては既存出店エリアの工場・配送センターを中心とした物流網を活かし、まず富山・福井の両県内に出店を行ってまいります。その後、新工場・物流センターの稼動に合わせて石川県内に出店を行い、今後3年間で北陸3県に累計約200店舗の出店を計画しております。

当社は、創業当初より「既存中小小売店の近代化と活性化」「共存共栄」の実現を経営理念とし、また、高密度多店舗出店方式により、製造・物流の両インフラの拠点内における出店を積極的に推進してまいりました。現在、セブン-イレブンは国内34都道府県に12,034店舗(2008年2月末)を展開しております。

このたびの北陸3県への本格出店は、既存の製造・物流網を最大限活用することで可能となりますが、今後1年程度を目処に、石川県内に製造・物流拠点を構築していく予定です。

今後もセブン-イレブン・ジャパンでは、お客様のニーズにお応えするため、チーム MD(マーチャライジング)、グループ MD による味・鮮度を追求した高品質なオリジナル商品や、より便利な暮らしを応援する新しいサービスの開発をはじめ、地域のお客様のニーズにあった品揃えに注力してまいります。

銀行ATMの設置、セブン&アイ HLDGS. 独自の電子マネー『nanaco』のサービスやインターネットを活用した商品のお取り置きサービス等も実施し、更なる利便性をご提供するとともに、出店にあたっては既存小売店様からの業態転換を進めることによって共存共栄を図る等、地域に密着した店舗づくりを推進してまいります。

以上